

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 7 年度第 1 回生物多様性かぞ戦略策定検討委員会
開催日時	令和 7 年 1 2 月 1 9 日（金） 午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分まで
開催場所	加須市役所 5 階 5 0 5 会議室
委員長氏名	石川安則
出席委員	牛腸宏、前田博之、角田大輔、藤原豊、寺井次郎 野本高広、佐藤充宏、青木正枝、奥貫薫、三輪誠
欠席委員	成田武志、三上忠仁
会議次第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員長及び副委員長の互選 5 議 事 （1）第 3 次生物多様性かぞ戦略の策定について （2）その他 6 閉 会
会議資料 の名称	【資料 1】「第 3 次生物多様性かぞ戦略」策定のポイント 【資料 2】第 2 次計画と第 3 次計画 体系図の比（案） 【資料 3】第 3 次生物多様性かぞ戦略（素案）
会議の公開又 は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	なし
説明者の 職・氏名	環境安全部環境政策課長 前田辰男
事務局職員 職・氏名	環境安全部長：増田浩之、環境政策課長：前田辰男 同課主幹：山崎幸男、同課主査：阿久津健介、 同課主事：小川翔太
会議録の 作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要 な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局 (山崎環境政策課主幹)	1 開 会
角田市長	2 委嘱状の交付
	出席委員
角田市長	3 市長あいさつ
各委員	4 委員自己紹介
事務局 (山崎環境政策課主幹)	事務局職員紹介
発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石川委員長 (議長)	5 議 事
事務局 (前田環境政策課長)	(1) 第3次生物多様性かぞ戦略の策定について(説明)
	質疑応答
奥貫委員	① 国及び県が同じ計画期間だが、市だけ異なる理由を教えてください。 ② 38ページ取組事業I-1-(3)、計画の目標値が現状値よりも下回っている指標が多くあるため、理由を説明していただきたい。
事務局 (前田環境政策課長)	① 加須市の総合振興計画との整合を図っている。 ② 担当の農業関係部署に確認し報告する。
青木委員	① 38ページI-1-(3) <u>生き物への配慮</u> を普通種も含めた意味合いも兼ねて <u>野生生物の保護</u> に変更した方が良いのではないかと。希少種、外来種でそれぞれ個別に施策・事業がある。 ② 38ページI-2-(1)身近な緑の保全・創造・活用に⑤として「植栽を行う場合は地域本来の植物在来種を利用しましょう」の追加を提案する。 ③ 38ページI-2-(1)④の具体化で、住民への周知、モデル事業の提案したい。 ・公園等で生き物と呼ぶ仕掛けの設置(1箇所) 草地タイプの場合面積も狭く、お金も手ごろで春と秋の七草や虫の音など文化面でも価値が高い。 ・各家庭での生き物と呼びこむ仕掛けのパンフレットの作成、配布や、その講座の開催。

	<p>④ 40 ページ指標・回数：取組内容の修正。 ・お花が池の外来種防除草刈ごみ拾い等の保護活動回数を、6回に変更していただきたい。 ・取組内容は市民の市内の環境美化をお花が池の保全に変更。</p> <p>⑤ 60 ページ、3 科目にカミツキガメを追加していただきたい。</p>
事務局 (前田環境政策課長)	<p>① 検討する。</p> <p>② 検討する。</p> <p>③ 検討する。</p> <p>④ 担当の大利根総合支所地域振興課に確認し見直しできるか含め、確認する。</p> <p>⑤ 修正する。</p>
佐藤委員	<p>① 計画内容が「推進します」「努力します」「努めます」が多く、前回のかぞ戦略の計画に対する、達成率はどのくらいか。</p> <p>② 例えばオニバス自生地のことなど、この計画に対する具体的な実施計画はあるか。進め方や推進体制が見えない。指標となる事業はこれから計画するのか。</p>
事務局 (前田環境政策課長)	<p>① 全 50 事業のうち目標達成が 27、概ね達成が 12 行やや遅れが 7、大幅遅れが 4 であった。 文言については見直しを図る。</p> <p>② 指標となる事業は既に取り組んでいる。浮野の里、風の里、オニバス自生地、お花が池、を代表的な指標として位置付け、個別具体的な事業を総合振興計画に基づく施策・事業として各地域で所管のうえ指標を設けて計画的に実施している。いずれも、総合振興計画の第 4 章豊かな自然と快適な環境のまちづくり—政策 2 豊かな自然と共生するまちをつくる—施策 1 自然環境との共生—事業 2 水辺環境の保全・再生・活用、に位置付けている。</p>
前田委員	<p>① 38 ページ、実行計画であるコウノトリトキをシンボルとした取組みの推進で目標に会議に 2 回参加となっているが、渡良瀬遊水地エリアエコロジカルネットワーク推進協議会の中でアクションプランを出しているため、それを指標とするのはいかがか。41 ページも同様。</p> <p>② 6 ページ、ネイチャーポジティブの文言を追加したが、2030 年が国際目標であり 5 年後だが、具体的な指標を入れてはいかがか。</p> <p>③ 38 ページ、生き物への配慮の指標で、ほ場整備率、生活道路側溝の整備の延長距離があるが、実施する内容によっては、生き物にとってマイナスなことがある。実際に生き物にとってプラスになるメニューをあげていただき、どれぐらいやるのかというふうにしていただけないか。</p>

	<p>④ 46 ページ、イベントの開催で具体的には平和祭参加申し込み団体やトライアスロン大会の誘致等がなぜ入っているのか。また、イベントで自然豊かな場所と知っていただくような何か配布等していただけないか。</p> <p>⑤ 30 ページ、SDGs の 6 番目安全な水とトイレを世界中に 2030 年までに山林、森林、湿地河川、帯水層補償などの水に関する生態系の方回復を行うという内容が入っている。中身を確認し、丸を付けていただけないか。</p>
事務局 (前田環境政策課長)	<p>① 今後も会議に参加し、他の取組につなげられるようにする。環境科学国際センターと担当者レベルで協議しているが、具体的な案が出ておらず調査研究段階のため、引き続き会議に参加することが重要と考えている。</p> <p>② 検討する。</p> <p>③ 検討する。</p> <p>④ 多くの市民の皆様にご会場となる利根川などの自然に親しんでいただくということで各イベントを指標としている。</p> <p>⑤ ご指摘の通り見直しする。</p>
佐藤委員	<p>① この計画にコンサルタントは入っているか。</p> <p>② 資料の中に生物調査結果が入っていて、昔と随分変わっているがデータがない。データがないと計画書はできないと思うが市の考えはいかがか。</p>
事務局 (前田環境政策課長)	<p>① 入っていない。</p> <p>② 動植物の更新は、埼玉県のデータで環境科学国際センターが編集している文献データに基づき修正している。</p>
事務局 (前田環境政策課長)	(3) その他
事務局 (山崎環境政策課主幹)	6 閉 会
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和8年 / 月 8 日</p> <p>署名 <u>石川安則</u></p>	